

東京をとりまく “ふたつの温暖化”

～エネルギー使用量の増大と温暖化の悪循環～

「2つの温暖化」の進行が、更なるエネルギー使用量の増大を招く悪循環



東京23区の夏季(7-9月)の高温化による冷房負荷の増大は、20年前に比べ約29.5万tのCO₂排出量を増加させたという試算もあるように、ヒートアイランド現象の進行が夏季のピーク需要を押し上げるなど、更なるエネルギー使用量の増大 = CO₂排出量の増加を招いている。

「平成12年度ヒートアイランド現象の実態解析と対策のあり方について報告書」(平成13年10月・環境省)による試算